

セッション4 エアロゾル・放射・雲・降水

- 本シンポジウムにおいて、素過程についての議論を行う最後のセッション。
 - ・ 熱源としての雲・降水システム(セッション1)
 - ・ 水蒸気源、エアロゾル源としての陸面(セッション2・3)
 - ・ いろいろな現象を結びつける素過程であるとも言える。
- しかしながら、
 - ・ エアロゾル－放射－雲
 - ・ 雲－降水両者の研究はこれまで共通の場で議論される事はほとんど無かった。

セッション4 エアロゾル・放射・雲・降水

- 気候モデリングと雲解像モデリング間での雲の取り扱い方のギャップ:空間スケール(解像度)の相違
 - ・ セッション1において議論
- 雲の取り扱いのギャップ(**Bulk法** vs **Bin法**)
 - ・ Bin法による雲の生成、維持、消失過程(素過程)に対する理解の向上。
 - ・ Bin法を用いたBulk法の改良の可能性。
 - ・ Bin法の精度の確認手法については確立されていない。→ あらたなる実験・観測手法は？
- 放射過程の研究者とメソ降水システムの研究者間の着眼点の相違
 - ・ 放射過程の研究者は断面積(二次モーメント)で議論。
 - ・ メソ降水系の研究者は混合比(三次モーメント)で議論。
 - ・ 両者はモデルの構造からソースコードレベルまで断絶がある。
- 雲・降水形成に影響を及ぼす力学・熱力学過程とエアロゾル効果の役割の理解
 - 両者を結びつける **key parameter** は何か？

セッション4 エアロゾル・放射・雲・降水

全球スケール

メソスケール

乱流スケール

エアロゾル

(1)竹村さん

放射

(3)鈴木さん

雲

降水システム

(4)茂木さん

エアロゾル

(2)竹見さん